



Minato  みなとシルバーニュース
Silver News

2024
No.
105

令和6年5月10日発行/会員数1,860人(令和6年4月1日現在)



かぐや姫



天使



孫悟空

会員研修講師グループの活躍

港区から羽ばたく…他区シルバー人材センターへの派遣

会員の皆さんは、センターの主催する研修(初回就業後研修、接遇・個人情報保護研修、パワハラ・セクハラ研修など)に参加されたことはありますか。その講師をつとめているセンターの会員が、これからご紹介する竹居さんと小森さんをはじめとする4名のグループ。昨年10月、大所帯のS区を皮切りに東京都の他区や市の研修も担当することになりました。その経緯と挑戦を語っていただきます。

一おふたりとも、偶然アパレル業界のご出身だとか

(竹居) はい。私はアパレルで企画と営業を経験、後に広告の企画制作の会社を立ち上げましたが、50代初めに歳をとってもできる仕事をと、パフォーマンス学のインストラクターの資格を取得しました。少しずつ研修の仕事をしなが、60代でセンターに入会しました。

(小森) アパレルの営業を担当、転職後は人材派遣会社のナレーターコンパニオンとして、商品説明やデモンストレーションの仕事を。徐々に接遇などマナー研修に携わって30年が過ぎました。

一以前、当センターでは、研修をアウトソーシングしていました

センターでの就業経験がない外部講師では、どうしても現場への共感に欠け、会員たちも講師の話に対しての納得感が充分ではない状況でした。そこで、私たちが手を挙げたのです。試行錯誤を重ねながらオリジナルのパッケージを作り、ゲームや性格診断を取り入れるなど、飽きさせない工夫をしました。

一そして、次のステップが区外への研修…すんなりと決まりましたか

センターでの研修が軌道に乗ってから、新しい目標を掲げました。昨春、センターに企画書を提出し幾度も話し合いの場をもって、やっと実現への道筋が整ったのが秋ごろです。港区のセンターは進取の気性に富んでいるので、決断後は積極的に都内のセンターにPRを

してくれました。

その甲斐があって、9月から11月の研修は5センターに見学していただきました。年内には4センターからのオファーがあり、その後も新規のほかリピーターや毎月の定期的な発注も入っています。

一港区の研修との違いはありますか

もちろん、事前に先方の担当者と綿密な打ち合わせをします。要望やクレーム内容をうかがい、カスタマイズしたプログラムを作ります。“港区からの派遣”となれば受講者は興味津々です。その分期待も大きいので、“しっかり準備・ちょっぴり緊張”ですね(笑)

ハラスメントに関しては、どこも同じです。ほとんどの方は他人事だと思っています。昔は、「スピーチとスカートは×××」が自己紹介の常套句でしたが、今はNG。ちょっとしたリップサービスがセクハラになる時代です。悪気がないのでプライドを傷つけることなく気づきを与えるのは難しい。その分やりがいも感じていますが。

一今後の展望と夢。それから、会員の皆さんに伝えたいことは

他地域での自前研修実施にご協力できたら嬉しいです。どのセンターにも“人材”が眠っているはず。将来は、隣県、近県にも進出したいと思います。あっ、観光旅行が目当てではありませんよ(笑)

実は女性だけのグループが目下の課題です。男性の視点からアドバイスをもらいたいので、男性講師の出現を歓迎します。ぜひ、一緒にチャレンジしましょう。

一最後に、お仕事の醍醐味を教えてください

他区でワークショップが盛り上がり、場が活気づくと担当者がとっても喜んでくださいます。講義終了後にわざわざ「ありがとう。楽しかった!」と直接言いにくくくださる受講者も…肯定的なアンケートを読むと元気がわいてきます。私たちが『小さな満足』が生きているのです。



竹居 由紀子さん[4768]

小森 リエさん[6492]

当委員会の目的は、会員の「安全確保」と「健康維持」の支援です。毎月発行の「事務局だより」に、“**今月は先月に引きつづき事故報告はありません。ゼロでした!!**”と掲載できたら、どんなにか嬉しいことでしょう。しかし、年齢・性別・就業場所・往復途上を問わず、毎月のように事故が発生しています。それらの情報と措置を皆さんと共有しながら、事故を未然に防ぐための主な取組みをご紹介します。

①事故分析調査の実施 → なぜ? どうして? リスクの芽を摘む

関係者から詳細を聞き取り、事故が発生した現場を訪れて原因の調査、分析を行います。最近の一例ですが、会員が公園のスロープで転倒し骨折。老朽化による舗装の不具合が原因であると判明しました。公園の指定管理者に報告したところ、すぐに修復が行われました。

②健康・安全講習事業の充実 → 楽しみながらタメになる!

自転車の交通安全実習、転倒予防、就業体力測定など、さまざまな講習会があります。理学療法士による「区民のための健康教室」のように、講習会はクイズやゲームなどの楽しい要素を取り入れながら最新の話題と実技を提供しているので、定期的な参加者が増えました。新入会員はもちろん、繰り返し受講することによって安全と健康への関心を高めましょう。

③安全就業パトロールの強化 → ベテランこそ慎重に

事故発生リスクが特に大きいとみられる「植木剪定作業」については、現場のパトロールを四半期毎に実行しています。安全対策をしっかり実施している現場ばかりですが、重篤事故に繋がりがやすい作業のため、抜き打ちパトロールをしていくことも検討しています。

④効果的な啓発方法の検討 → 2つのKY (空^K気^Yを^K読^Yんで^K危^K険^Y予^K知)

「事務局だより」や「ちいコミ」で、事故の内容、件数、予防策などを周知し、注意を喚起します。また、毎年センター(夏)と東京都しごと財団(冬)では、それぞれのテーマに沿った「安全就業標語」を募集しています。意識して標語を考えることは、自分自身の事故防止にもつながります。皆さん、ふるってご応募ください。

もうひとつ、夏季の就業にとって大切な取組みがあります。年々酷さが増す暑さのなかで登下校誘導や駐輪場管理、植木剪定などの屋外就業に携わる皆さんの**熱中症対策**です。これまでクールベストやスポーツドリンクパウダー、塩飴などを配付しました。今夏も効果のあるグッズを準備しますので、「**安全と健康第一**」を常に心がける就業をお願いします。



上段 根塚委員、大金委員、大内委員、高井委員
下段 鈴木委員、北畑副委員長、佐藤委員長、岡田委員

SNS広告を開始!!



センターでは、第4次基本計画にうたっている取組み「効果的な情報発信」の中の「SNSを活用したPR」を検討・実施中です。SNS広告は、港区シルバー人材センターの認知度アップから入会の促進まで幅広い効果を発揮します。

令和5年度は、YouTube広告を6月と10月に、またFacebook・Instagram広告を1月から3月に配信しました。いずれも期待以上の成果が見られたので、令和6年度も引き続きSNS広告に力を入れることになりました。

すでにSNSを活用されている会員の皆さんは、センターの広告を目にする機会が増えてくることでしょう。

一方で紙媒体(折込みチラシ)による広告も一定の効果을あげているため、すぐに紙媒体からSNSにシフトするのではなく、これからも並行しながらセンターのPRを推進してまいります。



初めての人も、もっと上達したい人も スマホ・パソコン教室 いろんな教室があります。

- 初めての人にはパソコンの無料体験教室
- 写真をデジタル化したい人の教室
- 持っているスマホをもっと使いこなしたい教室
- パソコンをもう一度基礎から学ぼうという教室
- この機会にワードやエクセルをやってみようという教室

いろんな教室が用意されていますし、出張サポートも行っています。ぜひ一度おいでください!!



これもシルバーの事業です

あなたの得意なこと
あれこれ、
教えてみませんか？

若い頃から続けてきたこと
仕事でエキスパートになってきたこと..
あなたの得意技はきっと
だれかのためになるはず!

みなとふ

TEL.03-

センターの会員の中でも、もし
地下鉄広尾駅のすぐ上にある
ここは何かを教えた会員と
今号のシルバーニュースでは
パルに案内してもらいます。(パ



わたしたちが受付で
お待ちしております!!



榊原 啓子さん[6597] 岡本 とよ子さん[7653] 落合 敦子さん[6639]

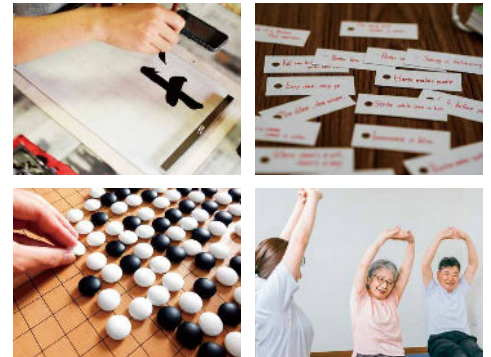


からだを動かす! 語学にチャレンジ! いろいろな趣味をはじめる! 多種多様なカルチャー講座



- ダンスや太極拳などで楽しみながら健康になる教室
- 英語ではいくつかのタイプの教室
- 書道や囲碁、おりがみ、俳句などの趣味の教室
- 港区の歴史を楽しく学ぶ教室

いろいろな興味をお持ちの方にもきっと満足いただけます。
センターの会員だけではなく、
区外の方、学生やお子さん、お待ちしております!!



れあい館 5475-1305



かすると知らない人が多いかもしれません。
「みなとふれあい館」。
可かを教わりたい会員がふれあえる場所です。
センターのキャラクターである
パルとは、仲間・友達の意味です。)

こんな講座があれば 教わってみたい!

ずっと習いたかったけれどなんとなく
ためらっていたり場所が遠すぎて..
なんて方はいらっしゃいませんか?
ここにはあなたにピッタリの講座が
あるかもしれません。

※教わるのはセンターの会員でなくてもだいじょうぶ。
区外の方でも、学生やお子さんでもOKです。



次号では
「おりがみ」
「太極拳」を
ご紹介する予定です。



三つのサービスを 二人でコーディネート

シルバー人材センターでは、「暮らし応援サービス」と銘打って、家庭から依頼される仕事にも対応しています。それらの仕事の受発注を担当するのが、家事援助コーディネーター。現在、二人のコーディネーターが隔日シフトで就業しています。コーディネーターが受注業務を担うのは、家庭などに伺い掃除・洗濯・食事づくりなどの家事を継続的に受注する「家事援助サービス」、電球交換、ベランダ清掃、外出同行など単発の「孫の手サービス」、それに「出張着付」。これらのサービスへの就業を希望する会員は、全部で60名超。「孫の手サービス」は、男性も多く就業しています。

“楽しんで 生きています”

センターでは筆耕の仕事から始めたのですが、その後家事援助の仕事に移りました。コーディネーターを務めて4年になります。月・水・金は事務局に詰めています。私自身が就業で長く伺っているお宅もあります。

コーディネーターとして仕事をする上では、会員とのコミュニケーションが何より大事だと考えています。センターに来られた時に、コーディネーターとちょっとお話をする—そんな些細なことの積み重ねが、依頼があった際に相応しい会員を紹介することに繋がります。私の場合、商家に嫁いで50年という経験が、人とのコミュニケーションを取る上での財産になっているかもしれません。

私たちが提供できるのは、主婦目線でのサービスです。ですから、就業前の依頼者宅への同行訪問時に仕事内容や量などをしっかり見極めることを大切にしています。

依頼主から、「きれいになりました。ありがとうございます」など、ちょっとしたお礼の言葉をいただくことが、この仕事を続ける上での何よりの励みになっています。また、長くお付き合いして、お子さんの成長を目の当たりにすることができるのも、嬉しいことの一つです。

「人生、楽しんで生きてくれ」という主人の遺言を大切に、ちょうどいい加減に、これからもこの仕事を続けていくつもりです。



岡田 育代
[6568]

「ありがとう」に 支えられて

これまではコロナ禍で始まったシルバーパスの郵送など、単発の仕事がほとんどでしたが、1年ほど前にコーディネーターとしての仕事を始めました。今は、火・木の2日間、1時から5時まで事務局で就業しています。ようやく1年を通しての仕事の流れがわかってきたところです。

仕事の依頼は、電話だけでなくホームページを見た若い方からメールで受けることも増えてきました。依頼件数には季節性があり、年末年始のお掃除、卒業式シーズンの着付けの依頼も多くお受けしています。「出張着付」はお宅に伺って着付けをします。着物や帯、小物などを揃えて持っていく必要がないため、とても喜ばれています。また、「孫の手サービス」は、高齢の方が繰り返し利用されるケースもあります。

依頼があった時にお話するのですが、私たちがお受けできるのは、「普通の」家事で、部屋とキッチン・お風呂・トイレなど水回りのお掃除が主です。洗濯に関しては、訪問先での時間的制約もありませんから、乾いた洗濯物を畳んで片付けることが中心になっています。

難しいのはやはり依頼主と会員のマッチング。依頼主が満足し、会員も気持ちよく仕事ができるように心がける…そこで交わされる「ありがとう」の一言が、コーディネーターとしての私の仕事の充実感につながっています。



中嶋 恵理子
[6917]

ソーイングサービス ～お気軽にセンターのアトリエへ～



センター事務局のある「ゆうあい南麻布」3Fの奥の部屋『ソーイングアトリエ』では、月・木・金の13時から16時まで、3名の会員がソーイングサービスに従事しています。リーダーは81歳の坂本威雄さん、現役時代は幾つもの企業で縫製業務を経験し、オーダースーツも手掛けてきたプロフェッショナルです。田沼きぬゑさんは洋裁学校の出身、縫製や修理の実績があります。いっぽうの前野美代子さんはお母様が自宅で洋裁教室を開いていたので“門前の小僧”…いずれも専門的なノウハウをもつメンバーが、アトリエに2台ずつある工業用と家庭用のミシンを駆使しながら、お客様のさまざまなニーズに応えています。

ズボン、スカートの丈やサイズのお直し、ファスナーの取り替えなどのほか、小さなお子さんたちが保育園や幼稚園で使う袋物も、忙しいママたちの代わりに作っているとのこと。お子さんが選んだ生地をママがデザインし、ベテランの会員たちが使い勝手についてアドバイスを加えている様子は、なんとも微笑ましい光景です。

以前は、主にセンターの会員が対象でしたが、道路沿いに案内看板を設置してからは、近所の方々も利用してくださるようになりました。最近では、会員よりも件数が増えているそうです。

「お気に入りの大切な洋服を長く着続けたいとの要望にきめ細かく応えるよう努力しています。修理済みの品をお渡しする際、依頼者の満面の笑みをみると、嬉しくなってやりがいを感じます。良いものを長く使っていただくことが環境を守る第一歩ですね。」と3人とも笑顔で話してくれました。

続いて、「着物のリメイクやレザー製品、特殊な織物の修理はお断りします。さらに、近年では手縫いやミシンでは処理できない新たな仕立て方もあって苦慮しています。とは言え、できるだけ工夫しながらお客様の願いを叶えたいと思いますし、私たち自身も時代の潮流に乗り遅れないよう、ファッションの勉強も兼ねたいので、まずは品物をお持ちになり相談にいらしてください。」と表情を引き締めました。

最後に、「センターでは、これからソーイングメンバーを増やし、アトリエのPR活動を促進してくださる予定ですので、皆様のご利用を楽しみにお待ちしております。」と期待を膨らませていました。皆さんも一度アトリエを覗いて見てはいかがでしょうか。



雑記帳

「鬼を克服!!」



「コロナも落ち着き、久しぶりに正月を故郷の広島で過ごすことができました。4年ぶりに会う甥っ子姪っ子はすっかり大きくなっており、あらためて会えなかった月日の長さを感じたところですよ。前回帰省できたのはちょうど4年前、長女が3歳、次女が1歳、実家の玄関に飾ってある鬼の面「広島」の伝統芸能、神楽を2人とも怖がつていたのに…今回は、何事もなかったかのように玄関を通り抜ける長女。自分の子どもの成長も合わせて感じることができました。」

父は、私が高校生の際に病気で他界しており、母はずっと一人暮らし。オンラインで娘たちの成長は見せておりましたが、実際に孫たちに会えたことがよほどうれしかったらしく、彼女たちの要望（わがまま）に笑顔で応えていました。

長女次女にとって、今回の帰省で、広島は「鬼」がいる怖い所から、要望（わがまま）をなんでも聞いてくれる「ばあば」がいる素敵な所にかわったようです。

次女（5歳）は、まだ鬼が怖いらしく後ろ向きで玄関に入っていました（事務局 栗栖）





高木 新
[7003]

趣味悠々



バタフライと私

小学生の時に1000メートル泳ぐ課題を果たしたのをよしとして、それからは水泳は特になかった。ところが、定年後、プールに行き始めたものの、自分があまりにも泳げないことに驚き、ゼロからやり直すことにした。

港区水泳協会の水泳教室や同好会に入れていただき、自主練にも励んだ。思い込んだら百年目、平均週3日をプールに通い詰めるまでになった。一生泳ぐことはないだろうと思っていたバタフライにも、70歳を超えてチャレンジ。いくらかできるようになったのは、何ともうれしかった。

ブタもおだてりゃ木に登るで、東京都のマスターズ大会にも出場した。私のバタフライのベスト記録は、25メートル26秒58。池江璃花子のベスト記録が50メートル24秒71だから、「池江の2倍のタイムで泳いでいる」と、えぼっている。

マスターズで1位になったこともある。男子リレーや混合リレーで、メンバー4人の合計が240歳から279歳というクラスでのことだが、このクラスに出場したのは1組だけだったから

である。1位の表彰状は、ちゃんといいただいた。タイムにこだわっているわけではないが、こうしてみると水泳大会というのもなかなか楽しいものだ。

昨年、大型クルーズ船で台湾に行った時に、デッキの小さなプールでバタフライに挑戦。「どうだ、太平洋上でバタフライをやったぞー!」と、プール仲間に自慢のワンショットをメールしたものである。

少し一生懸命やりすぎて肩が痛くなり、このところしばらく泳ぎを休んでいる。昔の人の言葉をかみしめながら……。[馬鹿とバタフライは休み休みやれ]と。



編集後記

▼あつという間に2回目の編集後記の順番が回ってきました。センターに入会して10年がたちました。早いものです。センターでいっしょに仕事をする人を見まわしても、いつの間にも自分より若い人がふえてきました。▼そんな風に振り返ってみると、この何年間かは物忘れがひどくなり記憶が一部飛んでいることも多くなってきました。そんなこともあつて実はだいぶ前からパソコンに食べたものを中心に日記みたいなものをつけています。前日に何を食べたかすらなかなか思い出せないこともあります。ましてや前々日の晩メシに何を食べたか?なんて思い出するのは一苦労です。▼ここからがセンターへの感謝なのです。過ぎたことは忘れていても就業に関しては絶対に忘れてはならないので、スマホのカレンダーに即、しかもこまめに打ち込んでいます。明日は何があるか? 明後日のスケジュールは? いや、これもボケないヒケツなんです
(菅田)

定時総会日程のお知らせ

日時：令和6年6月13日(木)
13時30分
場所：赤坂区民ホール
※詳細は事務局より5月11日(火)確認ください。